

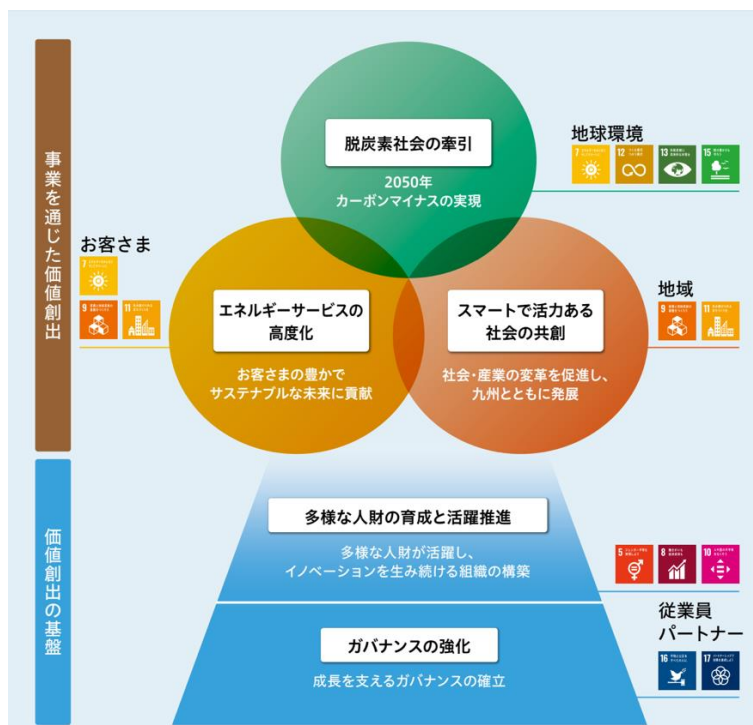
企業名： 九州電力

レポート名： 統合報告書 2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

十分に理解できる。九州電力は統合報告書の中で、サステナビリティを何度も強調している。実際、まずイントロダクションの部分の見出しでは、「そして九州から日本の脱炭素をリードする企業グループへ。」、続く価値創造ストーリーの部分では「サステナビリティ経営の推進」というテーマでその基本方針について説明しており、その後も統合報告書を読み進めていく中で「脱炭素」、「持続可能」、「カーボンニュートラル」、「再エネ」、「省エネ」、「SDGs」といった言葉が節々に見られ、将来の目指す姿としてサステナビリティが高い会社を掲げていることがよく読み取れる。特に、それは統合報告書の17ページにある重要な課題であるマテリアリティの解説資料では事業を通じた価値創出の3つの項目の中の2つが環境やエネルギーの安定供給といったサステナビリティを意識したものであることから、その重視の度合いが読み取れる【図1】。加えて、戦略とパフォーマンスの部分では経営ビジョン2030を明確にした上でそれに向けた中期経営計画まで綿密に作成されており、目指している将来の姿の実現に説得力を持たせていた。

【図1：マテリアリティ】



(出典：九州電力 統合報告書 2022 p.17)

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

理解できる。統合報告書の戦略とパフォーマンスの部分で、強みとして「主要国内電力会社でトップレベルの非化石電源比率」、「原子力発電の安定稼働やバランスのとれた電源構成によるコスト競争力と安定供給の両立」、「再エネ電源の高効率・高稼働を実現する技術力」を挙げており、これはまさに九州電力における競争優位性であると考えることができる。特に、再エネ分野の競争優位性は将来の目指す姿の基盤となるものであり、競争優位性の中でも上位であると言えることができるだろう。加えて、強みにはノウハウという言葉が多々出てきており、目に見えない形のものである知識や技術に長けているということも同時に読み取れる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

理解できる。先にも述べたように、再エネ分野の競争優位性は将来の目指す姿の基盤となるものである。同社は将来の目指す姿として省エネ・再エネの推進を挙げており、これらの目標の達成のためにかなり長期的なスパンで綿密な計画を立てている。つまり、その重なりは競争優位性の持続性を示していると言える。また、統合報告書の中では脱炭素社会の牽引のための取り組みとしてさまざまなものが具体的に説明されており、それは最初に出したマテリアリティの解説資料のようであることから説得力を持っていると言えることができる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

できると思う。統合報告書の価値創出の基盤の部分では、「多様な人財の育成と活躍推進」を大切にしていると説明しており、その中の人財の確保・育成の部分ではさらに具体的にその取り組みを解説している。その中でも、「私費留学等の学び休職」は特に人的資本の価値向上の達成にあたって魅力的であると感じた。加えて、統合報告書の安全と健康の最優先の部分でも社員を健康の面から大切にするという会社の姿勢が現れており、そのような雰囲気のもとに生まれるまとまったグループは互いに切磋琢磨しあい大きく成長することができると思う。このように、統合報告書からは社員を教育面からも安全面からも徹底的にサポートするという姿勢が強く読み取れた。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

良かった点と改善余地、それぞれ2つずつ挙げていく。

○良かった点

・戦略とパフォーマンスの部分で使われていたフォーマット（強み→事業戦略）がとても明確で伝えたいことがわかりやすかった。

・将来的に目指す姿だけでなく中期経営計画まで考えられており、その計画が具体的で主張に強い説得力を持たせていた。

○改善余地

・表を使って説明しているページや事業の紹介のページなど、複雑で読み取ることが難しかったり、文字が多く読むのに苦労したりするところがあった。より表を簡易的でわかりやすくすることや、事業の核となる部分だけの説明を端的に記すなどの方法によって改善できると考える。

・関連する取り組みなどについての説明であるコラムのような「TOPICS」をまばらに載せていたが、ページの決まった位置に載せるなどの工夫を足すとより興味を持たせるものになると思う。内容自体はどれもとても興味深かったので読みやすくする工夫を足せばよりその魅力が伝わると考える。

【参考文献】

九州電力「統合報告書 2022」

https://www.kyuden.co.jp/library/pdf/ir/integratedreport/2022/integratedreport_2022_d.pdf